

1, 本園の保育方針と保育目標

○保育方針

- ・心と身体を健やかに育て、その可能性を引き出す生活と教育の場
- ・父母が安心して働ける保障の場
- ・職員が学び生き生きと働く場

○保育目標

- ・健康な子ども
- ・仲間を大切にし、自分も大切に作る子ども
- ・心ゆたかな子ども
- ・仲間と一緒に考え、力を合わせる子ども
- ・自分のことは、自分でできる子ども

○保護者との関係づくり

- ・連絡ノート、送迎時の声掛け、行事や懇談会などの場面で家庭での姿、園での姿を具体的に伝え合い、子どもの姿の共有を心掛けた。
- ・わかばまつりや保護会行事での交流
- ・保護者からの意見に対して、受け止めつつも、園の方針を伝え、丁寧に対応している。

2, 園としての今年度の課題

- 保育の質の維持向上
- 人材育成、人材の定着、人材確保
- 保護者との関係づくり
- 地域に開かれた子育て支援
- 職員の働き方改革（仕事の明文化を行い、仕事内容を厳選していく）

○地域に開かれた子育て支援

- ・園庭開放を毎日実施し来園した親子には話しかけ、過ごしやすいように工夫した。
- ・年3回の交流保育では、地域の親子が参加し、園児との交流の機会になった。
- ・わかばまつりでは、地域の方に来てもらい、園の様子を見てもらえた。
- ・年2回のケアプラザ訪問

3, 2の課題にどのようにとりくんだか？

○保育の質の維持向上

- ・各ミーティング（クラス、乳児、幼児、週）や会議で各クラスの保育、子どもの様子等の情報共有が出来たことが、多角的な視点で保育をすることに繋がった。
- ・学習会で土粘土、絵具等の年齢ごとのねらいや取り組み方を学び実践できたことが、モチベーションに繋がった。
- ・他園との職員交流で、実際に他園に行き、保育の取り組みや情報交換を通して保育の見直し、考え方、とらえ方の違いを話し合うきっかけとなった。

○職員の働き方改革（仕事の明文化を行い、仕事内容を厳選していく）

- ・保護者へのお知らせをメールでの配信にしたことで、お休みの家庭にも情報がすぐに届くようになった。
- ・簡素化できる部分を話し合い、作業の分担化を行った。
- ・これまでのやり方（文集の内容の厳選等）以外のよりよい方法を検討して取り組んだ。

○人材育成、人材の定着、人材確保

- ・各ミーティングが定期的にあることで、個人やクラスだけでは解決出来ないことに対して、園長、主任、他クラスの保育士からアドバイスをもらい、色々な方法を知り、クラスの気付きに繋がっている。
- ・園内研修、キャリアアップ研修、外部研修などを行い、個人のスキル向上に繋がっている。
- ・期ごとに、個人の反省や振り返る機会があることで、課題が明確になる。
- ・声を掛け合いフォローすることや悩みを話しやすい環境が離職率の低さになっている。

4, 次年度の課題や改善点

○2025年度 園の課題

- ・保育の質と維持向上
- ・保護者との関係づくり
- ・人材育成、人材の定着、人材確保
- ・防災、防犯対策